



畜舎等の火災事故を防ぎましょう



空気が乾燥し火災が発生しやすい季節になってきました
大切な家畜と畜舎を守るため、点検と予防に努めましょう！

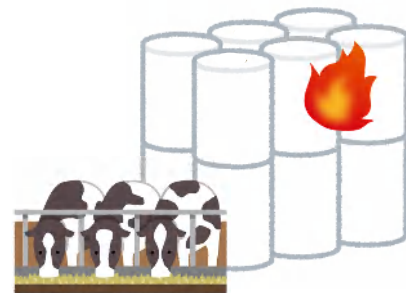
1. 暖房機器（カーボンヒーター等）の使用時に注意！

周囲に乾草や敷料、飼料袋等燃えやすいものを置かないようにしましょう。

2. 牧草等の自然発火に注意！

牧草や稲わらロールは、発酵熱で内部温度が上昇し自然発火することがあります。

- 湿った状態で大量に積み上げていませんか。
- 保管庫の屋根等が破損し、雨の降りこみや雨漏りはしていませんか。



3. 電気設備は定期的な清掃と点検で漏電と過熱を防ぎましょう

(1) 漏電は絶縁が傷ついたり、ホコリが付着することによってショートを起こし、火災や感電の原因になります。

- 電気設備と配線に雨や結露などの湿気による被害はありませんか。
- 扉などに挟まれたり、ネズミや害虫にかじられたことによる配線の露出はありませんか。
- コンセントやプラグ、スイッチの周囲にホコリは溜っていませんか。（日常的に、畜舎全体の整理整頓、清掃をしておきましょう）
- 電気保安協会等の定期点検を受けて漏電の有無を確認しましょう。

(2) 電気使用容量をオーバーしたり、コンセント、スイッチの接触が悪くなったりすると過熱による発火の原因となります。

- タコ足配線による容量オーバーはありませんか。
- プラグはコンセントにしっかり差し込まれていますか。
- 老朽化していませんか。
- 開閉器には適正なヒューズが使用されていますか



4. ゴミの焼却は法律で禁止されています

畜産で排出される廃プラスチックや可燃物等は適正に処理しましょう

5. 万が一に備え建物共済等の損害補償保険等に加入しましょう

- 家畜共済や損害補償保険に加入していますか。
- 契約期間が切れていませんか。更新していますか。

* 補助事業を活用し導入する家畜や整備する施設については、損害補償保険や家畜共済への加入が事業要件となっているものもあります。今一度ご確認ください。